

作成日 2012年 2月 2日

改訂日 年 月 日

製品安全データシート

1 製品及び会社情報

製品名 : GAシ-ル
会社名 : 三ツ星ベルト株式会社
住所 : 神戸市長田区浜添通4丁目1-21
担当部門 : 建設資材事業部 技術・生産部
電話 : 078-682-3379
FAX : 078-685-5681
整理番号 : K-501

2 危険有害性の要約

最重要危険有害性 : 可燃性。引火点以上の温度で引火、可燃の危険性がある。

有害性 : 不完全燃焼時に炭酸ガス、一酸化炭素ガスの発生がある。

物理的及び化学的危険性 : 通常の手扱いは安定である。

危険有害性の分類

分類の名称 : 危険物第2種引火性固体 危険等級

GHS分類

物理化学的危険性	: 火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾ-ル	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	区分1
	自然発火液体	区分外
	酸化性固体	区分外
	金属腐食性物質	区分外

* 記載のないものは分類対象外又は分類できない

健康有害性	: 急性毒性 経口	区分外
	急性毒性 経皮	区分外
	急性毒性 ガス	区分外
	急性毒性 蒸気	区分5
	急性毒性 粉塵 ミスト	区分5
	皮膚腐食性・刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2 A
	呼吸器感作性	区分外
	皮膚感作性	区分外

	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	区分外
	生殖毒性	区分 1 A
	特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	区分 1 (呼吸器 肝臓、中枢神経、 腎臓)
	特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)	区分 3 (麻酔作用) 区分 1 (呼吸器、 神経系、肝臓、 腎臓)
	吸引性呼吸器有害性	区分 2 (精巢)
環境有害性	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	区分 2
		区分 3

ラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語 : 危険

危険有害情報 : 可燃性固体

飲み込むと有害のおそれ

皮膚刺激

強い眼刺激

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器(呼吸器、肝臓、中枢神経、腎臓)の障害

(麻酔作用)眠気又はめまいのおそれ

発がんのおそれ

長期又は反復暴露による臓器(呼吸器、神経系)の障害

水性生物に毒性あり

長期的影響により水性生物に有害

注意がき：「予防策」熱、火花、裸火、高温のものから遠ざけること。禁煙。

保護手袋、保護眼鏡を着用すること。

換気を良くした環境で作業をすること。

環境への放出を避けること。

「対応」取扱い後は手をよく洗うこと。

汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。

吸入した場合：呼吸が困難な場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は医師の診断を受けること。

皮膚についた場合：多量の水と石けんで洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断を受けること。

眼に入った場合：水で十分に洗うこと。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。

3 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合製品

成分	C A S	濃度又は濃度範囲
ブチルゴム	9 0 1 0 - 8 5 - 9	
再生ブチルゴム	9 0 1 0 - 7 9 - 1	
ポリブテン樹脂	9 0 0 3 - 2 8 - 5	
石油樹脂	6 8 4 7 8 - 0 7 - 9	
タルク	1 4 8 0 7 - 9 6 - 6	
炭酸カルシウム	4 7 1 - 3 4 - 1	
カ - ボンブラック	1 3 4 6 3 - 6 7 - 7	3 . 3 %
トルエン	1 0 8 - 8 8 - 3	6 . 1 %
キシレン	1 3 3 0 - 2 0 - 7	4 . 0 %
工業用揮発油・ソルベント (第2石油類ソルベント)	特定できない	1 0 . 2 %
老化防止剤	8 0 0 2 - 7 4 - 2	
その他添加剤	1 5 5 0 1 - 7 4 - 3	

重量%は企業秘密のため明記できない。

4 応急措置

目に入った場合：清浄な水で10分間以上洗浄し、直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：付着物を拭き取り、石鹼を用いてよく水洗する。

炎症等の症状が出た場合は、直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：水又はぬるめの食塩水を飲ませて、吐き出させた後、直ちに医師の診断を受ける。

吸入した場合；直ちに新鮮な空気のある場所に移動する。頭痛等の異常がある場合直ちに医師の診断を受ける。

予想される急性症状及び遅発性症状：情報なし

最も重要な徴候及び症状に関する簡潔な情報：情報なし

応急措置をする者の保護：特になし

医師に対する特別注意事項：特になし

5 火災時の措置

火災発生場所周辺への関係者以外の立ち入りを禁止する。

消火剤：砂、粉末消火剤、泡消火剤、炭酸ガス消火剤。

使ってはならない消火剤：特になし。

特有の危険有害性：燃焼時、二酸化炭素、一酸化炭素などを発生する。

特有の消火方法：初期の場合には、一般火災の消火剤を用いる。

大規模火災の際には泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効である。消火作業は風上から行う。

消火を行う者の保護（保護具等）：燃焼時に発生するガスを吸入する可能性がある場合は呼吸用保護具を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項：作業時には保護具の着用する。

環境に対する注意事項：回収し法令に従い処理する。

回収方法

少量の場合：ヘラ等を用いて空容器に回収し、その後に完全にウエス等で拭き取る。

多量の場合：スコップ等で捕集し、廃棄又は焼却等の適切な処置を行う。

二次災害の防止策：付近の着火源となる物は速やかに取り除き、消火機材を準備する。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

安全取扱い注意事項：目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用し換気の良い場所で作業する。

水濡れ、破損しないように注意して取り扱う。

保管

適切な保管条件：火気、火花、高温体との接触をさける。

乾燥した冷暗所に保管する。

共通事項：該当する法令の定めるところに従い、取扱い保管する。

8 暴露防止及び保護措置

設備対策：局所排気装置、洗顔、身体洗浄用設備の設置。

第2石油類ソルベント

管理濃度：設定されていない。

許容濃度：日本産業衛生学会：勧告値なし。

ACGIH / TLV - TWA : 100 ppm

トルエン

管理濃度：50 ppm

許容濃度：日本産業衛生学会：50 ppm

ACGIH / TLV - TWA : 50 ppm

キシレン

管理濃度 : 100 ppm

許容濃度 : 日本産業衛生学会 : 100 ppm、430 mg / m³

ACGIH / TLV - TWA : 100 ppm、434 m³

局所効果 (皮膚・目) : 長期間又は繰り返しの接触により肌荒れを起こす場合がある。

感作性 : 現在のところ有用な知見なし。

慢性毒性・長期毒性 :

保護具

呼吸器用の保護具 : 状況に応じて適切な有機ガス用マスク、送気マスク。

手の保護具 : 状況に応じて軍手及びゴム手袋。

目の保護具 : 状況に応じて保護眼鏡。

皮膚及び身体の保護具 : 必要に応じて保護服。

適切な衛生対策 : 作業環境を管理 (許容) 濃度以下に保つ様に努める。

9 物理的および化学的性質

物理的状态

形状 : ペ - スト状

色 : 黒色

臭い : 芳香臭

物理的状态が変化する特定の温度 / 温度範囲

分解温度 : 測定データなし。

引火点 : 33.7 。

発火点 : 測定データなし。

爆発特性

爆発限界 下限 : 測定データなし。 上限 : 測定データなし。

密度 : 1.25 (20)

溶解性

溶媒に対する溶解性 : 易溶

水に不溶

オクタノール / 水分配係数 : データなし。

その他のデータ : なし

10 安定性及び反応性

安定性 : 通常の手扱い条件においては安定である。

危険有害反応可能性 : 特になし

避けるべき条件 : 特になし

混触危険物質：特になし

危険有害な分解生成物：燃焼時、一酸化炭素、二酸化炭素を発生する。

その他：なし

1.1 有害性情報

急性毒性（50%致死量等を含む）：現在のところ有用な知見なし。

第2石油類ソルベント LD50 5 g / k g 以上(ラット) (推定値)

トルエン 経口 LD50 5,000 mg / k g (ラット)

吸入 LC50 8,000 ppm x 4 h r (ラット)

皮膚 LD50 14 / k g (ウサギ)

皮下 LDLO 5,000 mg / k g (ラット)

人の8時間蒸気吸入では200 ppmで疲労、頭痛、吐き気、筋区低下、判断能力低下、知覚異常、共同運動障害が現れ、濃度上昇とともに症状が強くなる。

大量に吸入した場合、肝臓・腎臓に可逆的ではあるが障害を起こす。

眼刺激性は弱い、吸入は呼吸器系に軽い刺激を起こす。

キシレン 経口 LD50 4,300 mg / k g (ラット) 混合キシレン

吸入 LC50 6,700 ppm x 4 h r (ラット) 混合キシレン

皮膚 LD50 14,100 mg / k g (ウサギ) o-キシレン

皮下 LDLO 2,500 mg / k g (ラット) o-キシレン

空気中に2%の蒸気がある時は5～10分で、0.7%の時は30～60分で死亡する程の中毒を起こす。

局所効果（皮膚、目）：長期間又は繰り返しの接触により肌荒れを起こす場合がある。

感作性：現在のところ有用な知見なし。

慢性毒性・長期毒性：

トルエン

- 1) ラットのコントロール、30、100、300 ppm、6 hr / 日 / 週 x 106週の吸入で血液学、血液科学、尿分析、組織病理学による検査では毒性作用は認められない。
- 2) トルエン含有率80 vol. %の溶剤を3週間、嗜好的に吸入した人の肝臓・腎臓に対する可逆的障害、トルエン230 ppm以上で4年間、シンナ - の職業暴露を受けた人の脳・神経系障害、トルエン60～100 ppm (他にガソリン20 ppm) の職業暴露を受けた女性の月経異常が報告されている。
- 3) 10 gのトルエンを毎日、経口摂取した人の血球数に変化はないとの報告がある。
- 4) 慢性的接触により皮膚の乾燥、亀裂、炎症を起こす。

キシレン

ラット、モルモット、イヌ、サルに77 ppmで24時間/日で127日間暴露、770 ppmで8時間/日を30日間暴露したが血液像に異常は認められなかった。

ウサギに690 ppmで8時間/日を130日間暴露したところ、糸球体肝炎が認められた。

ウサギに1,150 ppmで8時間/日を50日間暴露したところ、血液像に変化があり、腎臓障害があった。

がん原性：

トルエン

慢性毒性試験は行われているが発がんの記載はない。

キシレン

IARC総合評価：グル - プ3（人に対して発癌性を評価できないもの）

日本産業衛生学会、ACGIHでは、発癌性及び発がんの疑いのある物質に指定されていない。

変異原性（微生物、染色体異常）：

トルエン

- 1) 人のリンパ球によるテストでは、姉妹染色体交換の頻度は増大しなかった。
- 2) 平均200 ppmの純トルエンに長期間就業暴露した人の末梢血リンパ球の染色体変化は有意でなかった。

キシレン

- 1) サルモネラ菌を用いたエ - ムステストで、o、m、p-キシレンは何れの変異原性は認められなかった。
- 2) 人の末梢血リンパ球培養液にキシレン1.25 mg/mlを加えた実験で染色体異常の増加と姉妹染色分体交換率の増加は認められなかった。

催奇形性：

トルエン

ラット（266、399 ppm）及びマウス（133、399 ppm）での吸入試験で胎仔の発育遅延が認められたが、催奇形性はみられなかった。

キシレン

CFY 妊娠ラットの吸入試験（230 ppm）で胎仔の発育遅延が認められ、多少の骨格異常の増加は認められたが、催奇形性は診られなかった。

生殖毒性：現在のところ生殖毒性に関する資料、文献は見当たらない。

その他（水と反応して有害なガスを発生する等を含む）：反応性なし。

1.2 環境影響情報

生態毒性

魚毒性：現在のところ有用な知見なし。

残留性・分解性：現在のところ有用な知見なし。

生体蓄積性：現在のところ有用な知見なし。

土壌中の移動性：現在のところ有用な知見なし。

1.3 廃棄上の注意

廃棄物は、許可を受けた専門業者に委託して処理する。

その他関係法令、地方条例のある場合はその法令に従う。

1.4 輸送上の注意

常温、常圧で扱い、水に濡れないよう、製品に傷を付けないよう、丁寧に扱う。

国連分類：該当しない。

1.5 適用法令

消防法：危険物第2種引火性固体 1,000kg

労働安全衛生法：トルエン 別表第9通知物質番号 406

化学物質管理促進法：第1種指定化学物質 物質No227 トルエン6.1%含有

第1種指定化学物質 物質No63 キシレン4.0%含有

1.6 その他の情報

参考文献

原材料MSDS

既存化学物質安全性点検データ

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。

記載内容は現時点で入手した資料、情報、データに基づいて作成しておりますが

記載のデータ及び評価は必ずしも充分でありませんので、取扱いには注意して下さい。

ここに記載された内容は、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。